

みんなでつくる 私設図書室 「池子やま としょしつ」

1 活動の概要

「近くに図書館がないこの地域に、地域の子どもや大人が気軽に本と触れ合える場所をつくりたい」「読書だけでなく、地域のさまざまな世代の人が交流できる場所にしたい」と、地域の学校図書ボランティアと池子小学校区住民自治協議会が中心となり、逗子市の空き家活用制度「ふれあい活動の拠点整備支援」を利用して開設した私設図書室。内装は、立ち上げのメンバー全員で一から整備し、子どもから大人まで安心して居られる場所となるよう工夫している。

蔵書については、様々な方面から譲り受けたり、助成金を活用したりして、少しずつ増やしている。選書も、図書ボランティアの経験を活かしながら、利用者に喜んでもらえるように行っている。



2 活動の状況、実際

丘の上の閑静な住宅街の一角に、ひっそりとたたずんでいる「池子やま としょしつ」

2階建ての建物の1階の2部屋は交流室として地域団体の会合や飲食スペースとして活用でき、2階には子ども図書室とおとな図書室がある。絵本や児童書、実用書やマンガ、小説など、その場で自由に読むこともでき、借りて帰ることもできる。

また、保護者ボランティアが定期的に様々な楽しいイベントを企画し、地域コミュニティの拠点としての役割も果たしている。あくまで「としょしつ」がメインではあるが、子どもから大人まで、地域住民が自然と集まり交流できるすてきな居場所となっている。

毎週月曜日、水曜日の15時から17時まで利用が可能。常時お当番のボランティアが1～2人で子どもたちを見守っているので、子どもたちは安心して読書や遊んで過ごすことができる。

3 参加者、運営者の声

【スタッフの声】

○読書は自分の選択肢を広げ、生きる上で助けとなってくれるものです。利用者の皆さんにとって、この図書室がきっかけとなり、読書が身近なものとなってほしいです。より多くの方に活用してもらえることを願っています。

○ここは大人にとっても気分転換の場所になると思います。みんなが自然と集まりコミュニケーションが生まれる、そんな場所でありたいです。

【利用した子どもの声】

○お友達とおもちゃであそんで楽しかった。（6歳）

○ときどきあるイベントのおやつが美味しかった。（10歳）

○家の近くでおいしい本やマンガがあってよかった。（11歳）

